

	科目名	単位数	内容
1	地域生物生産実習	1	地域の研究機関や民間企業の研究部門を中心にして訪問し、県の行政におけるそれぞれの研究機関の役割や、企業における研究組織の内容および生産施設の実態等について学修する。
2	一般微生物学	2	微生物発酵食品および医薬品の開発業務に携わった教員が商品化の基礎知識を講義する。
3	動物生理学	2	製薬企業において、モデル動物を用いた医薬品の生理・薬理的評価経験のある教員が、動物の生理について講義を行う。
4	応用生物学実験	1	民間の研究所において、植物・動物の研究に携わっていた教員が、植物病理の実験手法について指導する。
5	微生物学実験	1	製薬企業での実務経験のある教員が微生物実験と動物細胞実験について解説する。
6	技術者倫理	1	製薬企業の勤務経験のある教員が、企業におけるコンプライアンス、研究者倫理、知的財産権などについて、実務経験を踏まえて解説する。
7	育種学 I	2	民間企業で育種経験のある教員が、実際の育種について解説する。
8	地圏環境学	2	三重県の環境保全についての助言を行っている県立博物館の館長による、地球環境保全に必要な基礎知識についての概説を含む。
9	農作物利用学	2	企業において機能性食品の研究開発を担当した教員が、実務経験も踏まえながら、農産物の利用について講義を行う。
10	応用微生物学 I	2	発酵食品メーカーでの勤務経験を有する教員が、微生物発酵によるものづくりに関して、伝統的発酵法から現代の技術開発と工業利用について講義する。
11	応用微生物学 II	2	医薬品開発業務に携わった教員が創薬と医薬品開発の基礎知識を講義する。
12	生体高分子化学	2	民間企業の食品研究所で研究開発に携わった教員が生体高分子について食品素材としての基本的性質について講義する。加工食品開発に携わってきたゲストスピーカーが、健康食品開発の重要性を講説する。
13	生物物理化学 II	2	担当教員は、化学メーカーにて、分析業務を行っていた。その経験を活かして、分析装置の基礎的な原理と実際の利用に関する講義を行う。
14	育種学 II	2	民間企業で育種経験のある教員が、実際の育種について解説する。
15	植物病理学	2	民間の研究所において、植物病理の研究に携わっていた教員が、植物病理の基礎について講義する。
16	化学 II	2	担当教員は、化学メーカーにて、分析業務を行っていた。その経験を活かして、分析装置の基礎的な原理と実際の利用に関する講義を行う。
17	生物学実験	1	製薬会社において、医療用医薬品の研究開発経験のある教員が、動物組織や細胞の観察、取り扱い等について指導する。
18	環境生物学実験	1	民間の研究所において、植物病理の研究に携わっていた教員が、植物病理の実験手法について講義する。
	生物専門科目 計	30	